

7月28日(日) 開催
秋平・本泉小学校区

学校施設を含む公共施設の方針に係る 地区別説明会が開催されました

本庄市では、こどもたちにとって望ましい教育環境の実現を目指すため、学校規模の適正化を検討するとともに、学校規模の適正化により、統合となる学校の跡地の活用や既存の公共施設の機能を新たな施設に集めて複合化するなど、公共施設の見直しを進めています。

この度、検討を進めてまいりました学校施設を含む「各公共施設の見直し方針(案)」を取りまとめましたので、7月20日から8月25日にかけて、市内12の小学校区単位での地区別説明会及び本庄地域・児玉地域の全体説明会を順次開催します。



開催風景(児玉文化会館セルディ)

第6回として、7月28日(日)午後2時から児玉文化会館セルディにおいて、「秋平・本泉小学校区」の説明会が開催されました。

当日の質疑応答では、10件のご意見・ご質問をいただくとともに、説明会にご出席いただいた皆様には会場でアンケート用紙を配布し、14人の方からご意見等をいただきました。

【開催概要】

開催日時 令和6年7月28日(日)

午後2:00～午後4:00

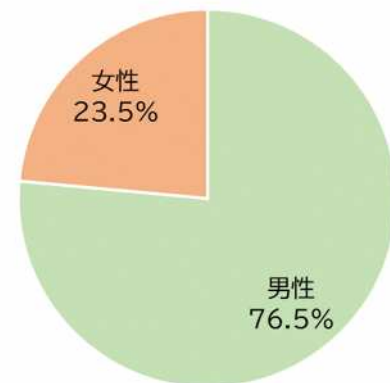
開催場所 児玉文化会館セルディ 2階 大会議室

参加者数 18人

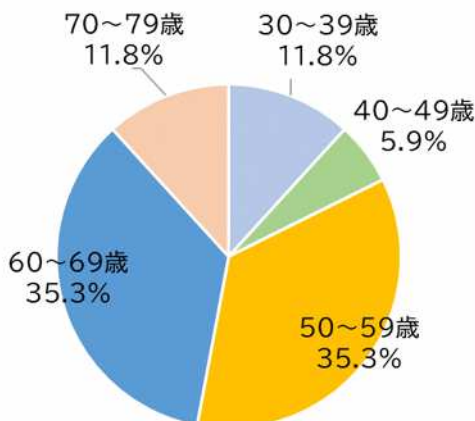
アンケート回答者数 17人

参加された方の属性(アンケートより)

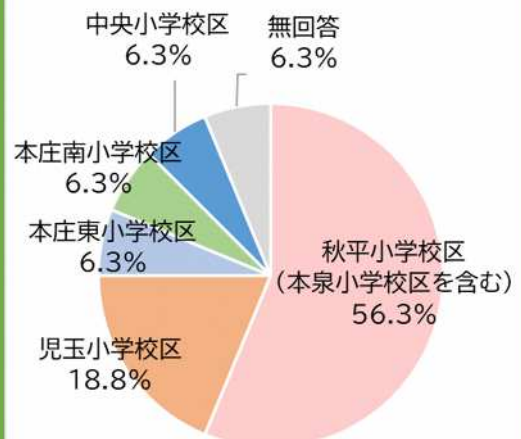
性別



年代別



居住地区



説明会でいただいたご意見・ご質問(アンケートへの記載含む)

学校施設について

- 児玉地域の小学校は自校方式での給食を行っているが、将来的に学校が統合された後も続けるのか。
- 学校の統廃合はほぼ決定で話が進んでいるのか。外国と日本の教育を比較すると、日本の1クラスあたりの人数が多い。少人数クラスでも可能ではないか。
- 学校が無くなるとその地域に若い世代の人々が住まなくなり、地域の衰退につながるのではないかと。いろいろな策を講じてもらいたい。
- 不登校生徒数の増加に関して、現状の人数はどれくらいか。小規模の学校から中学校に進学した場合、不登校になりやすいのか。状況を教えて欲しい。
- 配布資料からだと、学校規模によって不登校の生徒数に関係があるように読み取れてしまう。市が現状を調べるなりしてもらいたい。
- 説明会に関しては、自治会長や親だけでなく、実際にその学校に通うこどもの意見も聞くべきだ。
- 統廃合される地域に住む小学生や中学生の意見なども聞くようなことは考えているのか。
- 小中一貫校は、一つの敷地内に小中学校があり行き来するイメージを持っているが、本庄市では敷地が違っており、学校が近いのみだが、教育課程だけの問題ではなく小学生や中学生がお互いにどう見えているか、ジェンダーフリーで中学の制服の問題、クラブ活動と部活動のギャップなどがある。敷地が違ってても普段から交流する中で、環境を整えれば中一ギャップを少しでも解消出来るのではないかと。
- 旧児玉高校が移転先とあるが、移転先の場所の選定は、今後、どのような方法でいつ頃決まっていくのか。
- 小中一貫校はいずれ本庄市全体で切り替わるのか。
- 小学校のプール統合は共和に決まったのか。旧児玉高校にもプールはあるため、そちらを利用することも検討したのか。
- プールに行くための移動時間は授業の時間を使うと思うが、往復で1時間ほどかかる。授業のコマ数やカリキュラムではどう考えているのか。
- 単学級＝学力の低下というイメージにならないように、資料や説明に留意してほしい。
- 少子化、人口減少の流れの中で、仕方がないことだと思う。
- 小学校の統合には反対。もし実施するならば住民投票を行うべき。
- 1学級の定数をもっと減っても、おそらくクラス人数に大きな変化はないのかと思うが、小規模校の良さもあるので、各中学校の数と小学校の数を一部以外は同じにすること。先にありきでなく、よくよく地域の声を聞いて進めてもらいたいと思う。
- 少人数学級の良さ、地域に学校があることの大切さ、意義を丁寧に考えてほしい。
- 予算のことだけではない。意見に上がった、単学級が学力低下、不登校につながると思えるような説明の仕方や資料は訂正してほしい。
- 秋平小学校を含め、単学級の学校は学力が低いのか。
- 給食は自校でお願いしたい。

公共施設について

- 将来的な更新費用に関して、物価高のため数十年後には20.8億円以上の乖離になるかもしれないが、その見通しを埋める策はあるのか。本庄市民の市民税や固定資産税を上げるなどをするのか。
- 税収のために、スポンサー制度を導入してはどうか。
- 文化財収蔵庫を学習の場として利用出来ないか。歴史資料館もあると良い。
- 直近の令和11年、13年頃に計画している事業については、費用対効果が算出されているのか。
- いくら費用がかかって、どのような利益を享受できるのか。
- 学童保育クラブはNPOの協力なしでは受け入れきれないと思うが、統廃合時に公共以外への対応はどのように考えているのか。予算に含まれているか。
- よく分かった。ありがとうございました。この方針をどんどん進めてほしい。
- 基本的に老朽化した施設の統廃合は必要と思うが、新施設から遠い。市民が手軽に使える、運転免許を返納した老人でも気軽に通える交通手段(手ごろな値段)も同時に考えてほしい。
- 近隣住民の数を考えると、両町(美里・神川)も同様の問題を抱えている。施設の共同利用をもう少し考えるべきかも。

その他

- 本庄市が使っている「地域コミュニティ」という言葉は、どの程度の規模として理解しているのか。総務省では、地域コミュニティの単位は小学校の通学地域等としているが、規模を知りたい。
- ふるさと納税について、本庄市の収支を知りたい。
- 参加者が少ないのが心配(関心が無いのか)。
- 多岐に渡る内容だが、簡潔な説明で参加者に分かりやすかったと思う。質疑や意見も多く、有意義な説明会だったと思う。
- 児玉中学校近くの交差点について、事故が多く、道路拡幅等の改善を希望。
- こどもや人が増える対策も考えて欲しい。
- 児童生徒数が減少しているとあるが、本庄市に人を呼び寄せる方法は何かあるのか、市としての考えを聞きたい。他の市と比べて何を魅力に住まわせたいと考えているのか。
- 子育てに手厚い施策を独自で行っている市もある。もっと住みやすくなるような、子育てしやすくなるような対策が欲しい。
- 地域のそれぞれの教育風土を検証し、SDGsの方針、具体的課題と作業展開について、より安易な表記にて示してほしい。
- もっと新しいこと(改革)もやってみてほしい。
- 税収の件で、キャッチフレーズは良いが、もう一步踏み込んだワードがあると良い。
- 「どこにでもいける」だと「どこに行ける?」「どのくらいの時間で行ける?」等が分かりにくいので、「上野まで(新幹線で)40分」とか「茅ヶ崎まで(車で)90分」等、定量的に分かりやすいとより良いと思う(上野まで40分なら大宮・浦和の都内通勤者を狙える)。
- 海外事例も取り入れて、日本国内のファーストペンギンとなる事例を挙げてほしい。
- 市キャッチフレーズ→言葉だけでなく実態も。

※各説明会でいただいた主なご意見・ご質問に対する回答につきましては、後日、自治会回覧及び市ホームページに掲載いたします。

【お問合せ先】	本庄市	企画財政部	企画課	0495-25-1157
	本庄市	教育委員会	学校教育課	0495-71-8690